

梅木加津子議員



一括質問方式

- ① 大洲市立地適正化計画
- ② 新型コロナウイルス感染症対策
- ③ 学校給食の無償化
- ④ 国保税の引き下げ
- ⑤ 阿蔵高山建設残土処理場

大洲市立地適正化計画について

問 肱南公民館の建て替えの具体的なスケジュールは決まったのか。

また、商店街の活性化、空き店舗、空き住宅などの問題と併せた取組が必要と考えるが、住民の意見をどのように集約していくのか。

答 現在、庁内での検討委員会で、施設の導入機能や規模など、肱

南地区複合施設整備事業基本計画の検討を行っており、具体的なスケジュールは決まっています。

肱南公民館の建て替え及び周辺整備については、大洲市肱南公民館周辺整備基本構想策定時に、肱南地区住民、公民館利用者、児童・生徒を対象としてアンケートを実施しており、その意見を参考にしながら、施設の活用や景観に配慮した施設整備の検討を行っています。

また、基本計画案の策定後には、「肱川かわまちづくり計画」との関係する部分の国との協議や、地元代表者への説明を行う予定としており、ご意見を参考にしながら、多くの皆様が利用いただける施設となるよう整備を進めたいと考えています。

商店街の活性化、空き店舗対策については、基本構想の中で、町なかの古民家等の既存ストックを活用する方向で、古民家を再生して新しくオープンする店舗と、既存の商店街との連携を図りながら、経営戦略の軸を観光消費型へ転換していく取組が必要だと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策について

問

ワクチン接種は怖い、健康の理由で受けられない、子供には心配などのため接種ができない方や、そのほかの理由でも、いつでもどこでも、誰でも、無料で何回でもPCR検査が受けられるようにすべきと思うがいかがか。

答

PCR検査については、現在高齢者施設、障がい者施設、救護施設への新規入所者及び施設従事者が行うPCR検査、抗原検査に助成を行っています。

本市の感染状況は、市中感染が頻繁に確認されるなどの蔓延している状況ではなく、また濃厚接触者や症状がある方の必要な検査は、保健所や医療機関で行われていますので、市単独によるPCR検査の実施は考えていません。

国保税の引き下げについて

問

コロナ禍で市民の収入が激減している中で税負担は大きい。9月現在で2億6千万円の余剰金があるが、生活に困窮している市民のため、国保税を減額するつもりはないか。

国民健康保険事業の運営は、被保険者の高齢化による医療需要の高まりや医療費の高額化が進む一方で、被保険者数の減少やコロナ禍による傷んだ経済の影響を受け、個人所得の減少が進むなど、税収等の必要な財源の確保が見込めない状況です。

答

国民健康保険事業の運営は、被保険者の高齢化による医療需要の高まりや医療費の高額化が進む一方で、被保険者数の減少やコロナ禍による傷んだ経済の影響を受け、個人所得の減少が進むなど、税収等の必要な財源の確保が見込めない状況です。

このため、令和3年度予算では、加入者負担の軽減を図る観点から税率置きによって、不足する財源に前年度繰越金、決算余剰金の一部を充てることで収支の均衡を図っています。

コロナ禍の収束が見えず、回復の兆しが見通せない経済情勢の中、今後も税収等の確保が一層厳しくなることが予想されることから、9月補正予算時点で2億6千万円ある決算余剰金は、財政の安定化を図る上で不足する財源の補填や、次年度以降における税負担の激変緩和に要する財源として計画的に確保していく必要があり、現時点で保険税率を引き下げることは考えていません。